

施策点検票(記入例)

参考

課名	記入例
----	-----

第1節 結婚・妊娠・出産を切れ目なく支援

施策	ワーク番号
〇〇〇	〇-〇

I 目指す姿

〇〇〇

II 総合分析

--

III 数値目標の達成状況

目標① 〇〇を実施した回数			
年度	プラン策定時(H25年度末)	現状(H30年度末)	目標(H30年度末)
実績/目標	100回	600回	1,000回
進捗状況	やや遅れ		
分析	(現状把握) 平成30年度は〇〇対象者の選定に時間を要したこと、△△や□□での対応に切り替えたことにより〇〇の頻度が抑えられたことから、目標を達成できておらず、3年連続の目標未達成となった。最終年度においても、目標を達成できない見込みである。 (目標設定の検証) プラン策定時は、△△や□□による対応を想定していなかったことから、目標値の捉え方として当該項目のねらいを反映できていない部分があった。		

目標① 〇〇の養成数			
年度	プラン策定時(H25年度末)	現状(H30年度末)	目標(H30年度末)
実績/目標	30,000人	45,000人	40,000人
進捗状況	順調		
分析	(現状把握) 〇〇養成研修を実施する機関・団体が増加したことにより、毎年度順調に養成数を増やすことができ、平成30年度において最終年度の目標を達成している。 (目標設定の検証) 〇〇の養成により、△△な社会の実現に寄与することができることから、数値目標としては適切な指標となっていた。		

※中間指標(モニタリング指標)

中間指標 〇〇〇〇〇			
年度		現状(H30年度末)	目標(H30年度末)
実績/目標			
進捗状況			
分析			

IV 取組の方向と成果

番号	取組の方向	主な取組と成果
1	〇〇〇の体制整備を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇に向けた講座などの実施(計〇回)や、啓発冊子などの配布(計〇部)などを行い、△△に向けた取組を進めた ・〇〇に取り組む事業者〇社を「△△」として表彰した。 ・〇〇の拠点となる「△△」をH〇年〇月に開設し、〇〇のニーズに応じた支援事業等を実施した。

V プラン策定後に始まった取組と成果

番号	プラン策定後に始まった取組	成果
1	〇〇を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度に〇〇と協定を結び、△△内で県が□□等を実施する(計〇回)など、××をきめ細かく支援する取組が加速している。

VI 施策を取り巻く社会情勢の変化

<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の動き(新たな取組の開始, 予算額の拡充, 減少等) ・法改正(新たな理念・制度の導入・変更, 各種基準の厳格化, 緩和) ・関連する社会環境の変化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒行政サービスの受け手側(子供, 保護者, 地域におきている, 人的, 物的, 経済的, 教育・文化的, 情報面の環境における変化など) ⇒行政サービスの提供側(専門人材養成・確保の状況, 民間の状況(活発化・減少した活動), 市町の状況, 財源, 技術革新の状況など) ・国内外の研究による新たな知見
--

VII 課題の整理と次期プランにむけた検討の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿に対する現状を評価 ・目指す姿が実現していると考えられる場合は, その理由・根拠を記載 ・目指す姿が実現していないと考える場合は, その理由・根拠を記載 <p>・上記を踏まえ, 次期プランに向け, 継続/拡充/縮小の視点で今後の方向性を記入</p> <p>・どのように体系づけるかについて, ご意見があれば記入(新たに〇〇を項目の柱に追加する必要がある, 等)</p>

VIII 構成事業(非予算含む)

(単位:千円)

番号	構成事業名	H30予算額(総額/一財)	H31予算額(総額/一財)
1	〇〇事業	10000	150000
		(5000)	(100000)
	合 計	10000	150000
		(5000)	(100000)